

4月号

吾孺二中 ニュースレター

A to Z

墨田区立吾孺第二中学校

令和8年4月6日

キャリア教育で叶える「進める道」から「進みたい道」へ

校長 佐藤 順一

春の訪れとともに、令和8年度がスタートしました。始業式では、生徒の皆さんに、本校が大切にしている四つの力——「つながる力」「見つめる力」「乗り越える力」「見通す力」を、この一年で身に付けてほしいという話をしました。これらの力は、生徒指導とともに「生き方指導」の一つであるキャリア教育において、生徒に身に付けてほしい4つの基礎的・汎用的能力であります。学力に加え、人として、社会の一員として生きていくために欠かせない力です。

まず「つながる力」。友達や先生との関係の中で安心して過ごし、互いを認め合う力です。本校では今年度、「安心・挑戦・対話が当たり前の学校文化」を第一の経営重点に掲げています。失敗しても責められず、自分の考えを伝えられる安心感があるからこそ、人は挑戦できます。昨年度のアンケートでも、生徒・保護者ともに「安心して通える学校」という評価を多くいただきました。今年度はさらに、対話を通して人とつながり、よりよい人間関係を自分たちで築く学校を目指します。

二つ目は「見つめる力」です。これは、自分自身のよさや課題、得意なことや好きなことを知り、「自分はどんな人で、誰のために何ができるか」を考える力です。学習に取り組む姿勢を整えることはもちろん大切ですが、それと同時に、自分の強みを見つけ、それを人や集団の役に立てようとする視点を育てたいと考えています。今年度は、授業や学級活動、キャリアパスポートの活用を通して、自分を振り返り、社会や仲間とのつながりの中で自分の在り方を考える機会を大切にします。生徒アンケートでは、家庭学習や学習方法に課題も見られましたが、「分からない自分」を見つめ、どうすればよいかを考え、行動することが成長につながります。簡単にあきらめないこと、粘り強く取り組むことも大切です。授業の中でも、振り返りや対話を大切に、自分の学びを自分で調整できる力を育てていきます。

三つ目の「乗り越える力」は、困難や失敗に直面したときに立ち向かう力です。ここで大きな役割を果たすのが、特別活動の質的転換です。行事や委員会活動を生徒主体で進める中で、思い通りにいかない経験や葛藤も生まれます。しかし、その一つ一つを乗り越えることで、粘り強さや責任感、協働する力が育ちます。失敗も含めた経験を、次につなげる学校でありたいと考えています。

四つ目は「見通す力」です。これは、自分の将来や進路を考え、今の学びや生活と結び付ける力です。本校では、キャリアパスポートを活用し、日常の学級活動や授業、行事を通して、自己の在り方や生き方を考える機会を大切にします。日常の関わり方が学校文化をつくるという経営重点のもと、教師の声かけや対話を通して、生徒が自分の歩みを見通し、選択していけるよう支えていきます。

(次ページへつづく)

これら四つの力を育てながら、生徒一人一人がよりよい人間関係を築き、よりよい学級・学校生活を自分たちで作り、社会や集団に主体的に参画していくことを願っています。その積み重ねの先に、自分らしい生き方を描く「自己実現」があると考えています。

本年度も、教職員一同、組織として力を合わせ、生徒が「明日も登校したい」と思える学校づくりに取り組んでまいります。保護者・地域の皆様のご理解とご協力を、引き続きよろしくお願いいたします。

(4月6日始業式校長講話より)

吾孺二中はすべての教育活動を通して上記のキャリア教育における4つの力を育成していきます。具体的には以下のような力があります。

① つながる力(人間関係づくり・コミュニケーション・集団参加)

- ・相手の気持ちを考える力
- ・相手の個性を大切にする力
- ・自分の気持ちを上手に伝える力
- ・他者に一緒に行動しようと働きかける力
- ・意見が違ってもしっかり話し合える力
- ・係や委員会などの仕事を責任もって取り組む力
- ・人のために行動し助けることができる力
- ・グループで自分の役割を果たす力
- ・グループを引っ張りまとめる力
- ・リーダーについていくよりよい集団をつくる力
- ・だれにでも気持ちよくあいさつできる力
- ・集団のことを考え時間を守る力
- ・物を大切にする力
- ・社会や自分たちで決めたルールを守る力
- ・いろいろな人の意見を聞くことができる力
- ・違っていても認め合える力

② 見つめる力(自己理解・感情調整・自己管理)

- ・自分のよいところや苦手なことを知る力
- ・自分の気持ちに気づく力(イライラや不安など)
- ・自分の考えや目標を持つ力
- ・気持ちを落ち着ける力
- ・時間をうまく使う力
- ・やるべきことを続ける力
- ・前向きに考える力
- ・簡単にあきらめない力
- ・粘り強く最後まで取り組む力

- ・物事を別の視点から見る力
- ・自己をやる気にさせる力
- ・場面や状況により耐える力
- ・ストレスとうまくつきあう力
- ・自ら進んで行動する力
- ・自分が決めたことを継続する力

③ 乗り越える力（課題発見・相談・計画・改善）

- ・学級などで課題や問題点に気づく力
- ・課題や問題点の原因を考える力
- ・自分で調べる力
- ・先生や友達に相談する力
- ・「こうしたらもっとよくなるよ」と提案する力
- ・計画的に取り組む力
- ・複数の解決策を比べる力
- ・自分のよかったこと・改善点を振り返る力
- ・様々な状況から修正する力
- ・取組を振り返り改善する力

④ 見通す力（進路理解・将来像・計画性）

- ・自分の興味や得意を知る力
- ・自分が大切にしていきたいことが分かる力
- ・どんな仕事があるか調べ知る力
- ・どんな生き方があるかを調べ知る力
- ・どんな上級学校があるかを調べ知る力
- ・今学んでいることが社会に役立つことに気づく力
- ・今やるべきことが分かり頑張る力
- ・テスト等を見据えて学んだことを定着させる力
- ・自分の将来のために努力し続ける力
- ・先を見通し計画をたて行動する力
- ・今の頑張りが将来に役立つと考えられる力
- ・自分の夢や希望に向かって行動できる力
- ・どんな大人になりたいかを描ける力

※4つの力はそれぞれ独立しているものではなく相互に関わりあっていて、明確に区別されるものではありません。